

## 第31回ナノサイエンスデザイン教育研究センター運営委員会議事要旨

日 時：平成23年9月13日（火）15：30～16：13

場 所：IC ホール4階会議室

出席者：赤井委員長（理）、原田（理）、岩井（医）、宇野（薬）、笠井（代理：Wilson）（工）、藤原（工）、森田（工）、笏田（基）、宮坂（基）、吉田（基）、井上（生命）、吉田（産研）、節原（接合）、保田（電頭）、伊藤（ナセンター）、小川（ナセンター）

### 連絡事項

委員長から、前回（7月27日）開催の第30回運営委員会の議事要旨（案）については、各委員に意見照会し、特に意見がなかったことから、資料2のとおり確定した旨の報告があった。

### 【報告事項】

#### 1. 産学官連携問題委員会の報告について

委員長から、資料3に基づき1件の奨学寄附金の受け入れについて報告があった。

#### 2. 第2回ナノ理工学情報交流会(8/3)の開催結果について

委員長から、8月3日開催の第2回ナノ理工学情報交流会「表面・界面制御の科学と技術」の開催結果について報告があった。併せて小川委員から参加者数等の補足説明があった。

#### 3. 社会人教育後期始業式（10/7）の開催と特別講義について

委員長から、資料4に基づき10月7日に中之島センターで平成23年度後期社会人教育始業式を執り行い、併せて特別講義を開催する旨報告があった。

#### 4. 2011年度ナノ理工学セミナー（9/29）の共催について

委員長から、資料5に基づきナノ理工学人材育成産学コンソーシアム主催のナノ理工学セミナーについてセンターが共催することの報告があった。

#### 5. 四日市及び大阪商工会議所におけるセミナー（11/17, 12/7）の開催について

委員長から、11月17日に四日市商工会議所で中堅・中小企業向けのセミナーを開催し、また、12月7日に大阪商工会議所が開催するセミナー「フレンドシップサロン」に参加する旨報告があった。

#### 6. Nanotech2012（2012,2/15-17）への出展と産学官連携に係るイベントへの出展等支援の承認について

委員長から、平成24年2月15日から2月17日にかけて東京国際会議場（東京ビッグサイト）にて開催される「Nanotech2012 第11回ナノテクノロジー総合展・技術会議」へセンターが出展する旨及び出展に係る経費は「産学官連携に係るイベントへの出展等支援」事業から助成されることが認められた旨報告があった。

#### 7. その他

(1) 委員長から、資料7に基づき「PEN」2011年9月号に伊藤副センター長の特別寄稿「社会と連携するナノ理工学教育・人材育成の試み」が掲載されている旨紹介があった。

- (2) 伊藤委員から、ナノテクキャリアアップ特論の特別企画として9月21日にソニー厚木へ本学から8名程度が訪問し、先方の研究者とディスカッションを行う旨報告があった。
- (3) 伊藤委員から東日本大震災により被災したソニー仙台テクノロジーセンターから事業再開の状況及び義援金に対するお礼の手紙が届いた旨報告があった。

#### 【審議事項】

##### 1. 教員人事について

委員長から、現在、センターの特任講師（常勤）1名が欠員となっていることについて説明があった。なお、具体的対応については、今後の運営方法及びセンターの時限等を総合的に検討した上で対応する必要があることから委員長に一任願いたい旨提案があり、審議の結果了承した。

##### 2. 博士前期課程プログラム受講者（追加）について

委員長から、資料8に基づき平成23年度博士前期課程プログラムの受講者に3名が追加となる旨説明があり、審議の結果これを了承した。

##### 3. 平成24年度社会人教育について

委員長から、企業へ紹介するため平成24年度社会人教育のシラバスについて11月に確定する必要があるため、最終確定については委員長に一任願いたい旨提案があり、審議の結果承認した。

また、あわせて、25年度実施の有無についても照会があるため、方針について審議し、コンソーシアムからの意見等も踏まえ、平成25年度までは実施することとした。

なお、伊藤委員から大阪大学東京オフィスの状況について説明があり、今後の対応について検討することとした。

##### 4. 将来計画について

委員長から、8月9日開催の第3回将来計画WGの報告の後、引き続き第4回WGを9月中乃至10月初旬に開催する旨提案があり、了承した。

※次回は、平成23年10月11日（火）15：30からICホール4階会議室で開催することとした。